

限りある水を大切に 節水のススメ



水道水は、ダムや河川などの水源を利用して、浄水場で作られます。しかし、その水源であるダムや河川が利用できなくなると、「水道」というライフラインが麻痺し、私たちの日常生活だけでなく、経済活動等にも大きな影響を与えます。

これからの夏場は、晴れの日が長く続くという特徴があります。雨が降らないと、水不足になり、断水となる恐れがあります。また、地震等の災害によつて、水源が利用できなくなる場合もあります。

市では、こうした事態に備え十分な水量確保に努めています。また、水源地を分散することですく軽減を図っています。

しかし、何より大切なのは、市民のみなさま一人ひとりが水を大切にし、日ごろから節水に取り組んでいただくことです。

1日250ℓの節水を 目指しましょう

今すぐに取り組める有効な節水方法は次のとおりです。節水量を目安に、世帯あたり1日250ℓの節水に取り組みましょう。

風呂 (浴槽容量180ℓ)
ためる量を2割減らす(約35ℓ減)

シャワー

使用時間を2分減らす(約35ℓ減)

炊事

食器をため洗い(約80ℓ減)

洗顔・歯磨き

洗顔・歯磨きの際は、水を出したままにしない(約20ℓ減)

トイレ

必要以上に水を流さない

(1回あたり約20ℓ減)

洗濯

まとめ洗いで回数を減らす

(1回あたり約45ℓ減)

風呂の残り湯を使用

(1回あたり約40ℓ減)

掃除・散水

風呂の残り湯を使用

(バケツ1杯約10ℓ)

断水時の注意事項

万一、断水になった場合には、断水時間中に蛇口を開けたまま放置しておく、給水開始時に水が流れ出てしまいます。水を無駄にしないために、断水時間中は蛇口を閉めておいてください。

問い合わせ

上下水道部工務課(東条庁舎)
☎47・1430

地震・台風などの災害時のために ご家庭でも飲料水の備えを

地震や台風などの大災害に見舞われると、電気やガス、水道といったライフラインが寸断されることがあります。そうなったとき、一番大切なのは水です。

大規模な災害が発生した場合、2～3日は救援活動を受けられないことがあります。万一に備え、3日分程度の飲用水を備蓄しておきましょう。

Q: どのくらいの量を備蓄しておけばいいの?

A: 飲用水は1人あたり1日3ℓが目安ですので、「3ℓ×3日分×家族数」の水があれば安心です。

Q: 水道水も備蓄できるの?

A: 備蓄できます。きれいな容器に水を満タンにし、確実にフタをして、直射日光が当たらない涼しい場所に保管してください。ただし、備蓄期間は3日が目安です。

漏水を発見したらご連絡ください

上下水道部では、水道水の安定供給のため、配水管等の漏水の早期発見に努めています。

むき出しの水道管や漏水を発見されたときは、上下水道部に連絡をお願いします。

連絡先 上下水道部工務課

☎47-1430

